

# ほのぼのせや 活動団体紹介

1人暮らし高齢者のコミュニケーションを図るためのサークル

## M・Kサークル

M・Kサークル代表の樋口さんにお話を伺いました。

マークスプリングスの集会所あるいは樋口さんの自宅にて、月2回、近隣の高齢者が集まります。この日の参加者は12名でトーンチャイムを使った音楽プログラムを楽しんでいました。近隣の老人ホームでの発表を控えており、真剣に取り組まれている姿が印象的でした。皆さんでの持ち寄りの昼食後は、くつろいでいたテーブルが一変健康麻雀卓に。この時間を楽しみに午後から参加される方もいるそうです。音楽プログラムや健康麻雀を通して交流を深め、認知症を予防することだけでなく、安否確認も目的に活動しているそうです。そのため、地域の民生委員やケアマネジャーとも連携を行っています。また、助成金は活動を行う上で重要な財源となっているそうです。このサークルを立ち上げた勝村まゆみさんと樋口ケイ子さんのイニシャルをとって「M・Kサークル」と名づけられました。



# 瀬谷区のおすすめ天然温泉 癒しスポット



江戸の銭湯文化を継承し、地域の情報交流の場であり、お子様からお年寄りまでの幅広い皆様が裸のお付き合いが出来る施設を目指しております。横浜地区随一と評判の泉質。開放感のある露天風呂の他14種類の多彩なお風呂をお楽しみください。

ご入館料金	2014年4月1日より	
当館は入館制となっております	会員料金	一般料金
※3歳以下は無料です。		
大人 (中学生以上)	平日 630円 土・日・祝日 830円	700円 900円
小人 (小学生以下)	平日 300円 土・日・祝日 400円	350円 450円

＜こちらの広報紙をご持参のお客様へ＞  
平日料金 大人¥700 (一般) ⇒ ¥500に割引!!  
(有効期限) 4月末日まで有効  
※平日のみご利用いただける特別割引です。  
営業時間 ●10:00～25:00 (最終受付24:00)  
TEL.045-924-1126 横浜市瀬谷区目黒町 24-6

# 第62回神奈川県社会福祉大会開催

**功労者表彰** ■社会福祉事業功労者表彰【民生委員】北井 榮  
【ボランティア団体】配食サービスかしわ会／配食サービスひまわり会  
配食サービス火曜の会／ほのぼのサロン

- 優良地区社会福祉協議会表彰 瀬谷第二地区社会福祉協議会
- 神奈川県共同募金会会長感謝 奥津敏雄／本郷第一自治会
- 神奈川県知事表彰 瀬谷区老人クラブ連合会

# 第33回横浜市社会福祉大会開催

- 会長表彰 瀬谷区聴覚障害者協会／ワークスわくわく／横浜市中屋敷保育園
- 会長感謝 パソコンふれあい館・せや／横浜にし・おやこ劇場／サロンふらっと宮沢 お仲間サロンひなたぼっこ／本郷地区社会福祉協議会

# 平成25年度瀬谷区社会福祉功労者表彰式

東武士／石坂正和／石角千賀子／井嶋清吉／伊美ひろみ／小川智子  
小澤千恵子／梶田睦子／梶原由喜江／金子一重／小出章子／小島裕子  
佐々木隆重／鈴木京子／鈴木澄子／高橋茂代／手崎芳子／土橋とき子  
中里絢乃／名雪勝利／服部美枝子／藤井敏子／藤代睦夫／本多静恵  
山田英子／米倉令二／相沢ふれあいサロンⅡ／阿久和南部高齢者食事会  
阿久和北部お楽しみ食事会／男のボランティアとなり組／サロンドアバーン



**せやまる・ふれあい館**

●アクセス  
相鉄本線「三ツ境駅」下車 徒歩約12分  
または、三ツ境駅北口より相鉄バスにて「中丸」バス停下車 徒歩約5分

●駐車場  
26台 ※障害者用駐車場2台  
※台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

**開所時間**

- 横浜市瀬谷区社会福祉協議会 月～土曜日/9:00～17:00
- 瀬谷区ボランティアセンター 月～土曜日/9:00～17:00
- 瀬谷区福祉保健活動拠点「パートナーせや」 月～土曜日/9:00～21:00 日曜日・祝日/9:00～17:00

**編集後記**

第45号をお届けします。東日本大震災からちょうど3年です。この1月、福島県南相馬市で福祉活動をしているNPO法人代表の話を聞く機会がありました。今、人が住んでいる地域で、一番原発に近いところだそうです。講師のAさんの言葉に、思わず涙しました。「復興は進んでいません。当時、障害者の70パーセントは安否確認すらされていませんでした。今も私の胸はあの日に受けた傷で痛んでいます」と胸に手を当てて発言していました。翻って、私たちの住む瀬谷、備えは万全でしょうか。(米倉令二)

委員長 ●遠山 丈晴 (瀬谷第四地区社協)  
副委員長 ●勝木 基博 (三ツ境地区社協)  
中野しずよ (ワークスわくわく) / 米倉 令二 (瀬谷区障害者団体連絡協議会)  
紅林千津子 (相沢地区民児協)

www.seyaku-shakyo.jp



# 平成25年度瀬谷ボランティアバス 第2弾 釜石との「絆」を育む

平成25年11月22日(金)～25日(月) 3泊4日(車中2泊)

昨年に引き続き、今年度も岩手県釜石市内の仮設住宅集会所(10カ所)を会場に、避難生活を送られている方々と一緒にクリスマスリースとペーパークラフトのクリスマスツリーを作り、「瀬谷の逸品」カステラ文の「アーモンドコーヒークステラ」を味わいながら交流を深めました。2日間で合計121名の方に参加していただき、中には昨年も参加されて今年も楽しみにしていたという方もいらっしゃいました。

横浜からの参加者26名(うち高校生14名)は、長引く仮設住宅での窮屈な生活や遊ぶ場所がなくなってしまった子どもたちの現状を目の当たりにし、復興への長い道のりを改めて実感しました。また現地ガイドにより釜石市内と大槌町の被災状況を視察し、大槌漁港では瀬谷区から贈った「瀬谷丸」に会うことができ参加者一同感激していました。



今回使用したクリスマスリースとペーパークラフトのクリスマスツリーの事前準備には、佐藤福子さん(せや区人材バンク登録)と「カラージュファクトリー」、瀬谷区民活動センターにご協力をいただきました。

## あなたの町の地区社協



### 南瀬谷地区社協 福祉月間



南瀬谷地区では「みんなで支えあひみなみせや」を目指していろいろな活動が行われています。そんな様々な活動を地域のみなさんにもっと知ってもらいたい!!という思いで11月を福祉月間としました。

福祉月間は、地区内で行っている様々な活動を紹介する【福祉カレンダー】の世帯配布から始まり、それぞれの団体が工夫を凝らしたお楽しみ福引やプチイベントを実施します。

また、多くの人が参加・体験できる企画として「福祉車両と車いす体験」や「防災とみまもり講演会」を行いました。

福祉月間は、地域の方に活動を知ってもらうことを目的にしていますが、活動する側が改めて自分たちの活動を見直す機会にもなっています。

### 阿久和北部地区社協

## 皆で作った 「見守り合いの家」



阿久和北部地区は、早くから地域住民が互いに見守り合うシステム「見守り合い」を進めています。その拠点にと見守り合いの家を建てました。阿久和北部の丁度真中に当たる阿久和向原第二公園が建設場所です。建設日数140日間、述べ700名が俄か大工となり携わりました。行政関係の方々にも沢山の支えを頂き建て上げた文字通り住民手作りの家です。オープンは昨年の7月、「そこに行けば誰かがいる」をコンセプトに地区内の様々な団体が交代で常駐しています。さみしかった公園も子どもの声が溢れる公園に生まれ変わり、まさしく「見守り合い広場・見守り合いの家」となっています。

### 宮沢地区社協 地域福祉講座

平成26年1月29日(水)、南瀬谷小学校コミュニティ・スクールにて、地区社協・民児協・連合自治会関係者などを対象に地域福祉講座を開催しました。視覚障害者、車椅子ユーザーの方を講師に招き、当事者の体験をお話いただいた後、車椅子の操作・アイマスク誘導体験を行いました。「ちょっとした傾斜が怖く感じた」「誘導するうえで情報を相手に伝えることが大変」などの声があがりました。

宮沢地区はボランティア活動を率先して取り組んでくれる人材が豊富な地域です。講座を通して、地域が一丸となって「福祉のまち・宮沢」を目指していきます。




### 阿久和北部地区社協

## 皆で作った 「見守り合いの家」




阿久和北部地区は、早くから地域住民が互いに見守り合うシステム「見守り合い」を進めています。その拠点にと見守り合いの家を建てました。阿久和北部の丁度真中に当たる阿久和向原第二公園が建設場所です。建設日数140日間、述べ700名が俄か大工となり携わりました。行政関係の方々にも沢山の支えを頂き建て上げた文字通り住民手作りの家です。オープンは昨年の7月、「そこに行けば誰かがいる」をコンセプトに地区内の様々な団体が交代で常駐しています。さみしかった公園も子どもの声が溢れる公園に生まれ変わり、まさしく「見守り合い広場・見守り合いの家」となっています。



### 報告 第2期瀬谷区地域福祉保健計画推進シンポジウム開催

平成25年11月16日(土)、瀬谷公会堂にて、「顔の見える関係づくりから災害時の助け合い」をテーマに第2期瀬谷区地域福祉保健計画推進シンポジウムが開催されました。

横浜市まちづくりコーディネーターの山路清貴氏による基調講演の後、阿久和北部地区、瀬谷第一地区、南瀬谷地区より、地区別計画活動の一つである「地域での見守り活動」についての発表がありました。それぞれの地域の特性を活かした取り組みは、ご出席いただいた多くの方から参考になったとのご意見をいただきました。



また、公会堂2階のホワイエでは、区内地域作業所の自主製品販売と区内12地区の活動紹介が行われ、多くの方が足を運んでくださいました。

### 報告 平成25年度 せやカロリング交流会



平成25年11月30日(土)に、瀬谷区スポーツセンターで、せやカロリング交流会が開催されました。今回で3回目となるこの大会は、区内5地域ケアプラザと区役所・区社協・瀬谷スポーツセンター・瀬谷区さわやかスポーツ普及委員会が共催で行った事業です。

カロリングは、ソチオリンピックでも話題になった、カーリングとルールはほとんど同じで、氷の上ではなく、床の上で行うスポーツです。今回は、区内在住65歳以上の方を対象とし、区内全域から49名参加されました。5レーン10チームに分かれて対戦し、接戦で白熱した試合が行われ、いろんなコートで歓声が上がっていました。

アンケートを見ると、また実施してほしいという声がほぼ100%という反響だったので、平成26年度も11月ごろ実施する予定です。

### ボランティアのつどい開催しました

今年で18回目となる「ボランティアのつどい」が3月8日(土)に開催されました。お天気にも恵まれ、200名を超える方にお越しいただきました。午前中は、瀬谷区内で活動する中学生・高校生のボランティアや、瀬谷ボランティアバスに参加した高校生による活動報告会が行われました(詳しくは下段をご参照ください)。施設内は瀬谷ボランティアバスでも活躍していただいているパルーンアーティストのはなわかよこさんにご協力いただき、バルーンで春らしい飾りつけをしていただきました。


その他、瀬谷区内で活動しているボランティアグループの活動紹介や体験コーナー、被災地釜石の物産販売なども行われ賑やかな1日となりました。中でも男性による料理グループ「男めし」がつくったソフトタコスが好評で、予定していた150食はあっという間に完売しました。各コーナーの売り上げ約5万円は「瀬谷ボランティアバス」にご寄付いただきました。




### 釜石物産販売報告

被災地復興支援事業として、昨年から実施しご好評いただいている「釜石物産販売」について、今回は規模を拡大し、3月4日(火)~7日(金)までの4日間を瀬谷区役所2階の区民ホールを会場に、8日(土)はボランティアのつどいの中で、9日(日)~11日(火)までの3日間は、目黒町にある天然温泉「ゆめみ処こち湯横浜瀬谷店」の特設コーナーで実施しました。

初日からたくさんの方にお買い求めいただき、期間中3回釜石に商品を追加注文しました。三陸名産のだし昆布やすき昆布、わかめスープの他、バラエティに富んだ「南部せんべい」シリーズ、お馴染み「釜石ラーメン」、今回初めて仕入れた「焼鮭ほぐし」など商品を陳列するそばから手に取っていただき、ご購入いただきました。期間中の収益11万5千円は全て瀬谷ボランティアバスに寄付しました。また、これまで瀬谷区社会福祉協議会が行ってきた被災地復興支援事業をまとめたパネル展示も同時開催し、多くの方にご理解いただく機会となりました。物産販売にあたっては、瀬谷区災害ボランティアネットワークをはじめとするたくさんのボランティアさんにご協力をいただきました。ありがとうございました。




### ●●●●●瀬谷区中学生・高校生ボランティア活動報告会●●●●●

今年で3回目となるボランティア活動報告会。今回は地域の方や学校の先生も交えて行いました。

発表予定の中学生1名と高校生1名がインフルエンザ等で急遽お休みすることになり、ボランティア活動の報告者は東野中学校2年生の大貫新太様1人になってしまいましたが、「ボランティア活動をとおして人に喜んでもらう楽しさを学び、これからは積極的に活動が続けていきたい」と力強く話していました。東野中学校の山口先生はボランティア活動をとおして成長する生徒の姿を見ることができると、これからも地域の活動に出ていって活躍してもらいたいとお話されました。地域代表の瀬谷第四地区連合自治会の小野会長は、地域の運動会で活躍する中学生や道路で転んで怪我をした高齢者の救助や、雪かき、ゴミ拾いで活躍した高校生のエピソードを、こどもログハウスの鈴木主任からは横浜隼人高校3年の浅野綾乃さんが若さを発揮して活躍した様子などをお話いただきました。活動する側、受け入れる側、送り出す側それぞれの貴重なお話を聞く機会となりました。

### 瀬谷ボランティアバス 活動報告会



今回、新たな試みとしてこれまでに瀬谷ボランティアバスに参加した横浜隼人高校3年生の3名にお話いただきました。報告に先立ち、前回のボランティアバスの活動内容を中心にとりまとめた啓発DVDを鑑賞しました。なかでも音声訳ボランティアの関谷晶子さんに朗読していただいた鶴住居防災センターでの悲劇のお話は参加者の涙を誘うものでした。

高校生にもできることがあるはずだと、一昨年の夏に参加した松村結衣さんは「励ましに来たはずの私が逆に釜石の人の温かさや笑顔に励まされ、本当に素晴らしい経験をしました」と感想を話しました。

これまでに2回参加した川合真奈美さんは、「春からは大学生として、震災を風化させないように、主体的に被災地の支援活動に積極的に取り組みたい」と話し、また、これまでに3回参加した藤野望さんは「自分の目で感じるのがとても大切なので、大学生になっても後輩たちと一緒に支援活動を続けていきたい」とそれぞれこれからの活動についても話していました。瀬谷区社会福祉協議会では、この活動を10年間続けていくため、若い世代にも積極的に参加してもらえるよう取り組んでまいります。

なお、ボラバス活動報告の模様は4月20日(日)夜、TBSで放送される予定です。

### 3.11瀬谷ボランティアバス 街頭募金報告

震災から3年目となる3月11日(火)に相鉄線瀬谷駅と三ツ境駅の街頭で募金活動を行いました。今年は横浜隼人高校の生徒46名にもご協力いただき、総勢78名のボランティアさんが冷たい風が吹く中、大きな声で被災地復興支援事業への協力について呼びかけました。2時間で集まった募金は合わせて311,943円になりました。また、発災時刻の午後2時46分には全員で黙祷を捧げました。集まった募金は全額、瀬谷ボランティアバスに使用するため、善意銀行に寄付します。



# 障害者の方々を応援しています！

障害者支援の活動が、いろいろな形で行われました。その様子をご紹介します。

## 障害児余暇支援「みーとすまいる」笑顔で開催

第3回目となる障害児余暇支援「みーとすまいる」を2月23日(日)に行いました。対象は三ツ境養護学校に通う重度心身障害のある生徒です。講師にピープウ・ラボをお招きし、音楽プログラムを行いました。楽器に触れて音を楽しみ、音楽に合わせて体を動かしてみんなでダンスをしました。

他にもパラシュートを使ってメリーゴーランドのような世界を体感しました。終始和やかな雰囲気、みんなの笑顔もキラキラしていました。ボランティアとの出会い、友達との出会い、そして笑顔いっぱいの時間を一緒に過ごしませんか？来年度も実施予定です。ぜひご参加ください。



## 「39窃盗団」上映!



私たちは知的障害など発達障害がある方々の独特な感覚や伝わりにくい行動の理由などをわかりやすく知ってもらうために、地域で出前講座をしている団体です。親亡き後も地域で安心して暮らすためにはまず、地域の人に障害のことを正しく知ってもらうのが一番と、啓発をはじめ7年目になります。知的障害は一般的には触れにくい話というのが現状だと思います。この映画は、刑法39条に取る詐欺師に障害者兄弟がそのかされて盗みや空き巣を重ねていくというユーモアたっぷりのコメディタッチな作品です。障害を押しつけがましく理解させるのではなく、「ありのまま」の本人たちを映し出し、見た後から、じわじわと「生きるための障害とは何か？」を考えさせる映画だと思ひ、瀬谷区での上映と監督のトークショーを開催しました。

当日は450名の方に来場していただきました。今後も、障害があってもなくても「みんなちがってあたりまえ」を伝えていけるよう活動していきたいと思っています。

(瀬谷区知的障害理解啓発グループ ant mama代表 八木澤奈奈)

## せやまんまるねっと 瀬谷ふくし探検ウォーク



瀬谷区障害者地域自立支援協議会啓発部会主催の「瀬谷ふくし探検ウォーク」が2月22日(土)に行われました。「障害のある人たちが地域にすることを知ってもらいたい!」という思いから始まったこの企画。障害のある方々と一緒に、地域の福祉事業所やグループホームを巡りました。途中、実際に事業所で行っている作業を体験したり、ゴールの「せや福祉ホーム」で同日開催している「そばまつり」に参加したりしました。当日は、大雪の影響で足元の悪い中の実施となりましたが、参加者からは「日頃の話をしながら楽しく歩けた」「近くに住んでいるのに知らない施設がたくさんあった」などの感想をいただきました。

## 「せやまる・ふれあい祭り」



12月3日~12月9日の障害者週間に合わせて、12月8日(土)に開催しました。開催に先立ち、12月4日には啓発活動及びイベント周知のため、区内の障害関係施設の利用者さんや職員さんと共に三ツ境駅街頭でチラシの配布を行いました。お祭りのテーマは「心と年齢のバリアフリー 異世代交流」。館内は可愛いバルーンで飾り付けられ、オープニングイベントでは東野中和太鼓クラブの演奏が華やかに行われました。その他、区内の障害関係の事業所やボランティア団体、養護学校等による販売や作品展示、手話体験や聴導犬デモンストレーションを通じた障害の理解啓発を行いました。来年度も開催を予定しています。

## 黄色と緑色のバンダナ活用



昨年度、本会では障害のある人等が災害時に必要な支援を受けられるよう、横浜市全域で普及活動が行われている「黄色と緑色のバンダナ」を区内15か所の地域防災拠点へ配布し周知活動を実施しました。今年度は区内作業所やグループホームへバンダナの配布を行い、「地域活動支援センターともしび」では、施設での避難経路確認練習の際、PRを兼ねて黄色のバンダナを利用者さんが身に付けての訓練を実施していただきました。実際に日頃の訓練等で活用してもらえよう、今後も周知をしていきます。

# 平成25年度 各種募金ご協力状況

## 賛助会費納入協力状況報告

世帯賛助会費	5,680,200円(昨年度 5,958,000円)
法人・個人会費	392,000円(昨年度 702,000円)
合計	6,072,200円(昨年度 6,660,000円)

- 賛助会費とは**  
賛助会費は瀬谷区内の地区社会福祉協議会と地域福祉活動団体の運営を支援するために、地域の皆様にご依頼させていただいているものです。
- 賛助会員とは**  
本会の実施する事業に対して、ご賛同いただき1年ごとに会員という形で地域の福祉活動を財政面で支えていただく世帯・個人・法人・団体の方々のことです。
- 具体的な用途について**  
地域の皆様には、一口1,000円をお願いしておりますが、そのうち55%(550円)は地区社会福祉協議会の活動財源に、35%(350円)はほのぼのせやふれあい助成金として福祉活動団体の財源に、残りの10%(100円)は配分事務手数料といった内訳になっています。地区社会福祉協議会では、社会参加の促進を支援するサロン活動や、高齢者の方への配食サービス活動などを地域の方々为主体となって行っています。

## 法人賛助会費にご協力いただいた皆様

- 3月12日現在 (順不同・敬称略)
- (株)連合社印刷 ●(有)第一産業 ●(株)アクティブ
  - (有)カネココンストラクション ●(株)鈴木工業 ●(株)シーケン
  - (株)エムテック松崎 ●瀬谷交通(有) ●勝建設(株)
  - (有)河本工業 ●(有)タケベ塗装 ●露木興業(株) ●(有)橋田商事
  - (株)アアム ●三ツ境交通(有) ●小野寺建材(有) ●(株)フクハラ
  - (株)和光テレコム ●(株)日生設備 ●(有)木下左官店
  - イシケンスポーツ瀬谷店 ●川口白鳳(株) ●(株)ハクホウエンタープライズ
  - まこと幼稚園 ●(株)エービーテック ●(株)三ツ境生花園 ●(株)八雲堂
  - (株)岩本工業 ●相原造園土木(株) ●(社)日本ハウスメンテナンス協会
  - 花上社会保険労務士事務所 ●ダスキンヘルスレント横浜西ステーション
  - (株)横浜アーチスト ●曙工業(株) ●(株)アイシマ ●(有)山内板金工業
  - (株)高栄設備工業 ●(株)オオスミ ●(有)安芸美装 ●(有)報栄
  - 日総ニフティ(株) ●珈心館 ●(株)あんざい ●(株)国際連邦警備保障
  - コーロ計装(株) ●(有)トーワ ●神奈川農産工業(株)
  - (有)一里山ゴルフセンター ●税理士法人TMP ●(株)富士紙業
  - (株)シンヨー・エービー・センター ●横浜隼人中学・高等学校
  - (有)ミスズオート ●(有)ラ・シード
- ※賛助会費は確定申告の際、寄附金控除の対象となります。

## 善意銀行とは

地域の皆様の善意に基づく金銭・物品をお預かりし、必要とされる方々に配分する仕組みで、銀行の機能になぞらえて「善意銀行」と呼んでいます。また、平成24年度より、被災地の復興支援を目的としたボランティアバスへの指定寄付も受け付けています。

<平成25年度実績>	<平成24年度実績>
1,857,895円	1,364,231円
うちボランティアバスへの寄付	うちボランティアバスへの寄付
1,226,826円	567,966円

## 神奈川県共同募金会瀬谷区支会

<平成25年度実績>	<平成24年度実績>
赤い羽根共同募金 9,410,887円	9,603,493円
年末たすけあい募金 2,292,102円	2,365,737円
合計	11,702,989円

## 日本赤十字社瀬谷区地区委員会

<平成25年度実績>	<平成24年度実績>
6,789,160円	6,816,917円



※平成25年度実績については、全て平成26年3月12日現在の実績です。

# 賛助会員になって

## 花上社会保険労務士事務所 様

社会保険労務士として28歳で開業し、瀬谷区に事務所を移してからは40年になります。常に感謝の心を忘れず、挨拶と掃除、お客様には安心をお届けするという理念のもと、ありがたいことに今年3月「横浜型地域貢献企業」の認定を最高評価で受けることができました。これまで人生や仕事の節目で様々な「ご縁」に恵まれ、お引き立てをいただきました。これまでの恩返しを地域貢献社会活動として「花上倶楽部」を再開しました。仕事でかかわってきた方々にもご参加いただき、友好と夢を込めて色々な楽しいことをやりたい。「社長さまの笑顔は社員さまの笑顔、笑顔のあるところに幸せあり。」と終始笑顔でお話されていました。



左が所長の花上一雄さん 右が室長の井上英美さん

## 三ツ境交通有限会社 様

三ツ境駅前ロータリーのタクシー乗り場で待機しているのが、三ツ境交通のタクシーです。昭和36年創立。石川治社長ご自身も小中高と瀬谷区内で過ごされた、生粋の瀬谷っ子。「この街と共に歩み続ける」という理念のもと、「人の役に立ち、必要な存在になること」を常に意識し、事業に取り組んでこられました。2007年より横浜市初の子育てタクシーの運行を開始。ご自身も子育て中だったこともあり、地域の中で子どもを見守ることの重要性を再認識されたとか。最近では、ユニバーサルデザインカーも導入され、車椅子やベビーカーへの対応もよりスムーズになったそうです。「今後もあらゆる世代のニーズに応えられるよう、また地域密着型だからこそできることを模索し、前進していきたい」と語っておられました。



石川社長(ユニバーサルデザインカーの前)

●**法人賛助会員とは** 毎年9月以降、区内にある法人様を対象にご協力をお願いしています。平成25年度にご協力いただいた54社の法人様の中から、「花上社会保険労務士事務所」「三ツ境交通有限会社」の2社をご紹介させていただきました。